

2022（令和4）年度 第1回 大阪府内地域連携プラットフォーム協議会  
議事録

日 時：2022（令和4）年6月21日（火）13：30～14：40

場 所：オンライン（ZOOM）

出席者：大阪府：月原氏（委員代理）、岡本氏  
大阪市：馬越委員、林氏、藤原氏  
大阪商工会議所：小林委員、本氏  
大学コンソーシアム大阪：久委員  
大阪府内地域連携プラットフォーム事務局：西本氏

※下線は陪席者

議 題：

1. 協議会委員の変更について【資料1】

事務局より、資料に基づき、今年度の委員紹介があった。なお、前任者から交代となった委員は以下のとおり。

- ・大阪府 財務部 行政経営課 課長 吉田 博史 氏
- ・大阪商工会議所 人材開発部 部長 小林 幸治 氏

続いて、委員及び陪席者による自己紹介があった。

2. 大阪府域における高等教育グランドデザインの検討

(1) 中期計画案及び今年度の事業計画案について【資料2-1、2-2】

事務局より、資料に基づき、当プラットフォームの活動主体である大学コンソーシアム大阪において、2022（令和4）年度から5カ年の中期計画を実施するに伴い、当プラットフォームの中期計画もこれに連動して新たに策定したい旨提案があった。これを受けて、委員から特段の異論はなく、承認された。

(2) リカレント教育について（意見交換）【資料2-3】

事務局より、資料に基づき、国において地域におけるリカレント教育推進が求められる中、当プラットフォームでの推進検討にあたり、まずは各大学のリカレント教育の実施状況と意向調査を行いたい旨提案があった。

また、久委員長より今回はリカレント教育推進にあたって求めることや期待されることについて意見交換を行うが、検討にあたってはプログラムだけではなく出口（＝就職）を考えておくべきであり、そのような観点でも意見やアイデアを出してもらいたいとの補足があった。

これを受けて出された意見等は以下のとおり。

<大学に対する基礎調査について>

- ・問3の「受講者への期待」に関する選択肢の数が多く、似通ったものがあるため整理をするか、最も期待することを上位4つまでと限定する方がより大学の意向や傾向が見えてよいのではないか。
- ・問4の設問に「受講者へ配慮していることや配慮したいこと」とあるが、「すでに配慮していること」と「配慮したいがまだできていないこと」を分けて聴取する方がよいのではないか。（以上、小林委員）

- ・大学の視点から、社会人でも受けられるようなプログラムを検討するにあたり、受講する上での時間帯や通学時間の配慮、それによるオンラインの活用、受講促進のための経済的負担の軽減策というように、設問の並びを整理すると回答しやすく、見えてくるものがあるではないか。
- ・今回の調査は大学が対象だが、今後それを踏まえて、社会人としてどのようなプログラムを望んでいるのかを把握する調査があればよい。(以上、久委員長)
- ・問8の「期待されること」について自由記述欄については具体例を示す方が回答しやすく、各大学の具体的な意向が見えてよいのではないか。(馬越委員)

#### <リカレント教育の推進について>

- ・コロナ禍で社会が大きく変化し、社内でもDX化が図られる一方で、新しい技術やサービスを学ぶ機会が得難い現状がある。大阪商工会議所の会員は中小企業が多いこともあり、リカレント教育を検討するにあたっては主には現在中小企業で働いている方を対象とした機会にできればと考えている。(小林委員)
- ・現在の技術を今後の未来社会にどう戦略的に実装できるのかを意識した「イノベーションを図る」学びの機会を提供できればよいのではないか。特に技術経営の考え方を学ぶ内容は大阪のものづくり企業において重要と考える。(久委員長)
- ・大阪商工会議所が大学と進めているプログラムの事例紹介として、関西学院大学と女性リーダーの経営の基礎知識の育成や、滋賀大学とデータサイエンスに関するプログラムを進めている。大阪商工会議所では今後も現在の社会人のニーズに沿うプログラムを提供していきたい。(本氏)
- ・(上記の事例紹介を受けて) 大学コンソーシアム大阪でも新しくデータサイエンス学部を立ち上げる大学があり、大学が提供するプログラムとして十分可能性があるのではないか。
- ・30代、40代の女性の起業意欲が高まっており、技術やノウハウはあるものの起業につなげるための機会がないため、そういった場を提供してもらおうとよいのではないか。これによって男女共同参画の社会実現にもつながっていくと考える。  
(以上、久委員長)

### 3. 私立大学等改革総合支援事業(タイプ3)について【資料3】

事務局より、今年度の申請に関して大学コンソーシアム大阪の総会にて決定したことを受けて、各位には引き続き協力願いたい旨依頼があり、特段の異論はなく了承された。

### 4. その他

久委員長より、大学コンソーシアム大阪の地域連携部会で推進している下記事業について紹介があった。

- ・毎年10月に行っている「地域連携 学生フォーラム」を今年度も開催予定である。YouTubeでもライブ配信予定であり、学生の地域連携活動が把握できるほか、今後の新たなタイアップの材料ともしていただける機会のため、ぜひ参加願いたい。
- ・「地域連携 情報交換会」も開催予定である。自治体と大学の担当者が直接つながることが可能な機会のため、準備が整い次第、改めて案内したい。

以上